

## 水産の窓

## 長期漁海況予報（令和6年8月～12月の予測）について

令和6年7月30日～31日に令和6年度第1回太平洋いわし類・マアジ・さば類長期漁海況予報会議が開催され、予報対象海域に関係する水産関係試験研究機関が参加・検討し、国立研究開発法人水産研究・教育機構がとりまとめ、8月2日に公表されましたのでお知らせします。予報内容の詳細については本文を参照ください。（予報本文 URL：[https://www.fra.go.jp/home/kenkyushokai/press/pr2024/files/20240802\\_ukiuo-pac-1st.pdf](https://www.fra.go.jp/home/kenkyushokai/press/pr2024/files/20240802_ukiuo-pac-1st.pdf)）

## 1. 海況

## (1) 黒潮（潮岬以東）

- ・大蛇行が継続し、A型基調で推移する。
- ・蛇行北上部は、概ね伊豆諸島海域の西側に位置する。
- ・犬吠埼沖では、沖合の冷水渦の接近に伴い離岸することがある。

## (2) 鹿島灘～常磐南部海域

- ・断続的に黒潮による暖水が波及する。

## (3) 沿岸水温

- ・房総海域～常磐南部海域は、「平年並」～「やや高め」で推移する。

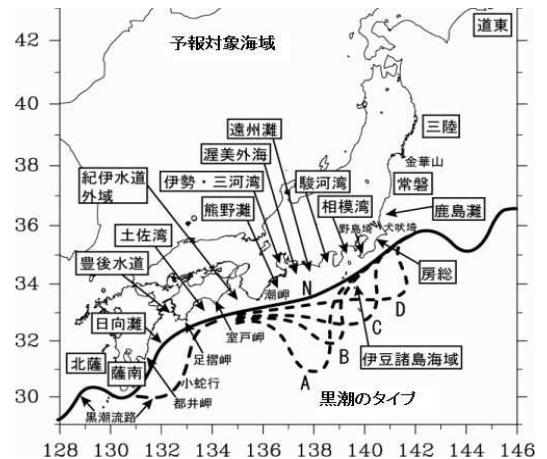


図. 予報対象海域および黒潮の流型

## 2. 漁況

## (1) マサバ・ゴマサバ（犬吠埼沖～三陸海域、道東海域：まき網、定置網、底曳網）

- ①来遊量：マサバ1歳魚は前年を下回る。2歳魚は前年を下回る。3歳魚は前年を上回る。4歳魚は前年を上回る。5歳魚は前年を下回る。6歳魚は前年並。マサバ全体としてはまき網では低調であった前年並～下回り、定置網では前年を上回り、底曳網では前年並。ゴマサバは混獲される程度。サバ類全体としては低調であった前年並～下回る。
- ②漁期・漁場：定置網、底曳網では期を通じて漁獲される。まき網漁場は、8月～10月は道東～三陸北部海域、11月～12月は三陸北部～常磐海域に主に形成される。
- ③魚体 [尾叉長]：マサバは23cm～36cm（2歳以上、体重120g～550g）主体に、20cm～28cm（1歳魚、70g～230g）も漁獲される。

## (2) マイワシ（房総～三陸海域、道東海域：まき網、定置網）

- ①来遊量：前年を下回る。
- ②漁期・漁場：まき網は、8月～10月は道東海域が主漁場となり、三陸～房総海域は小規模な漁場形成となる。11月～12月には三陸～常磐海域においても散発的に漁獲される。定置網は、各地で期を通じて散発的に漁獲される。
- ③魚体 [被鱗体長]：10cm～15cm前後の0歳魚（体重10g～40g）、13cm～17cm前後の1歳魚（30g～60g）、15cm～18cm前後の2歳魚（40g～70g）、16cm～20cm前後の3歳魚（50g～90g）、17cm～21cmの4歳魚（60g～105g）が漁獲される。房総海域で漁期前半に漁獲される0歳魚は16cm～17cm（50g～60g）主体。

## (3) カタクチイワシ（房総～三陸海域、道東海域：まき網、定置網）

- ①来遊量：房総海域では漁獲主体となる0歳魚は予測が困難、1歳以上は前年を上回る。三陸南部海域～仙台湾では前年を上回る。三陸北部海域ではまとまった漁獲はない。道東海域では主たる漁獲対象とならない。
- ②漁期・漁場：房総海域の2そうまき網、三陸南部海域～仙台湾の定置網では期を通じて漁獲される。道東海域および常磐～房総海域の1そうまき網では主な漁獲対象にはならない。
- ③魚体 [被鱗体長]：6cm～8cm主体の0歳魚（2g～5g）、10cm～12cm主体の1歳以上（9g～15g）が漁獲される。（回遊性資源部）